

# 熊本支社から車掌職がなくなる ワンマン運転の拡大で車掌業務の解消

# 元気かいだ

第20号

(発行・編集)  
JR九州労組  
退職者連絡会

熊本地区本部

(発行責任者)  
山下 和美  
(編集責任者)  
編集グループ

今年4月におこなわれた経営協議会の中で、西九州新幹線開業に伴って、在来線のダイヤ改正を実施する旨の説明があり、今秋のダイヤ改正において「3両・4両ワンマン運転」が提示され車掌業務の解消が提案されました。

会社は、これまで3両・4両ワンマン運転はすでに実証済み(福北ゆたか線)であり、それに加えて、本社管内においては6両ワンマン運転を実施する計画などが提案され、組合は、安全安定輸送が確保できるのかを念頭にワンマン運転の拡大に係わる事象の課題解決に取り組んできました。

今回の施策により、国鉄時代から脈々と受け継がれてきたサービスの提供を第一線(最先端)で行ってきた車掌業務が、熊本支社から解消され、該当する25名の社員は「転勤者10名」、「出向

者2名」、「退職者10名」、「転職」等、様々な思いで、9月23日を迎えることとなりました。

熊本地区本部の業務

\*2022年春ダイヤ

修正

- 駅体制の変更
  - ・ 直営駅の委託化、委託駅の無人化
  - ・ 販売改札体制の見直し
  - 作業体制の見直し
    - ・ 技術管理・軌道検査班の見直し
    - 保線関係業務の見直し
      - ・ 部外能力の拡大
      - 設備関係の見直し
        - ・ 機械関係業務を 博多設備区へ集約
        - 鉄道事業部の一部見直し
          - ・ 運輸課と営業課を統合(営業運輸課)
          - ・ 支社工務課を工務センターと統合
          - (工務所・工務室に変更)

\*2022年9月23日

ダイヤ改正

- 西九州新幹線関連
  - ・ 新幹線運転士による 車掌業務
  - ・ 新幹線運転士による 仕業検査業務
  - ワンマン列車編成数の見直し
    - ・ 熊本乗務センターの車掌業務が解消
    - (博多車掌区転勤13名・出向者2名・退職者10名)
    - ・ 熊本支社管内の通勤列車の3両・4両ワンマン化
    - (モーターの不具合等が発生)
    - 乗務員運用の持ち替え
      - ・ 乗務員による乗泊清掃
      - 直営駅の委託化
        - ・ 荒尾駅の委託化
        - (異常時の対応や運賃ほ脱対策等が課題)
        - 車両配置の見直し
          - \*11月1日から
          - 社員の副業が開始
          - ・ グループ会社への副業が認められ月60時間以下の超勤可。社員のスキルアップを目的として認可された。
          - このような効率化事業があり退職者連絡会としては「安全・安心」な輸送体制を確立して欲しいものです。

交運共済の各種任意共済等が「こくみん共済coop」(全労済) に来年7月1日より契約移転します。

新規加入者

- ◇村島 勇喜 (熊本乗務センター 運)
- ◇平川 智志 (熊本工務センター)
- ◇霧林 義文 (熊本乗務センター 運)
- ◇工藤 清高 (八代工務センター)
- ◇藤田 優一 (熊本乗務センター 運)
- ◇沼田 安司 (八代工務センター)
- ◇高山 一郎 (熊本乗務センター 運)
- ◇田中 武志 (熊本支社 工務課)
- ◇坂口 裕之 (熊本乗務センター 運)
- ◇西川 誠 (荒尾駅)
- ◇杉 和憲 (新八代駅)
- ◇杉 勝彦 (熊本乗務センター)
- ◇大竹 訓示 (熊本鉄道事業部工務本所)
- ◇那須 憲史 (運行管理部 施設指令)
- ◇大塚 智賀志 (熊本支社 総企画 出向)
- ◇小川 欽也 (熊本乗務センター)
- ◇柴田 英幸 (熊本乗務センター 運)
- ◇若杉 浩徳 (熊本乗務センター 運)
- ◇坪木 浩一 (熊本駅) (順不同・敬称略)

山下会長のあいさつ

私たち退職者連絡会は「会員相互」の「親睦と交流」を目的に活動を取り組んでまいりましたが、コロナ禍の中で「定期総会」「親善ゴルフ」は開催しましたが、他の活動ができませんでした。

現在、全国旅行支援等で、コロナウイルスを巡る水際対策も大幅に緩和され人流が増えてきていますが「退連」として感染状況を見ながら今後の活動を展開して行きます。一方でウクライナ情勢、円安の影響、物価高騰対応等経済対策は喫緊の課題です。特に高齢者の負担も増え、年金の減少、医療費負担増、介護問題等高齢者として大切な問題も始めています。これらの政策制度の改善については、「熊本県退職者連合」など、他団体と連携していきます。

また、主要課題の会員拡大については「次期総会まで40名拡大目標」を掲げて取り組んでいます。JR60歳退職者が、再来年以降、10数年間は1人もいない状態が続きます。

大牟田市議会議員 松尾 哲也

博多車掌区で頑張っています。

退職者連絡会熊本地区の会員の皆さまにはお元気で過ごしていただくことを思います。

また、日頃のご支援に心から感謝いたします。私事ですが、9月23日のダイヤ改正に伴いまして、熊本乗務センターの車掌業務がなくな

なり、「退職」「出向」「他職場(車掌区)」への転勤を余儀なくされました。私もこんなに早く熊本の本車掌がなくなるとは思ってもいませんでしたが、もう少し現職で頑張ろうと思

いたし、「博多車掌区」に転勤しました。慣れない線区の乗務を、見習いも終わり乗務してはいますが、熊本で培った知識を生かすために頑張っています。

さて、私は「来年4月の統一地方選挙」で7期目の挑戦を致します。地域の活性化は勿論のこと、鉄道業は依然として厳しい現状が続いています。肥薩線の復旧・復興や利用者の立場に立った地域公共交通の維持

など、JR九州労組の抱える課題解決に頑張ってください。これまで以上のご支持、ご支援を心からお願ひ申し上げます。



松尾哲也大牟田市議

結びに、なかなかお会いする機会も減りましたが、皆さまのご健勝と退職者連絡会の更なる発展をお祈り致します。

訃報のお知らせ

- \* 榎山 健治 様 (一月没) (熊本車掌センター)
  - \* 上田 孝士 様 (四月没) (阿蘇工務センター)
  - \* 古林 裕之 様 (六月没) (熊本乗務センター 車掌)
  - \* 前田 敏郎 様 (七月没) (熊本支社総企画 出向)
- \* 謹んでお悔やみを申し上げます。(退職者連絡会熊本地区本部結成以降、物故者が計20名になりました。)

一方では、JRの雇用制度延長の課題がありますので、既退職者にも「退職者連絡会」加入を呼びかける行動も展開していきます。更には、「交連共済」が来年7月1日から「こくみん共済coop(全労済)」に契約移転されます。契約移転に伴い「契約の解約」「新規加入手続き」等の作業も発生します。生活に不安がないようにサポートしていきます。

併せて、来春の「統一地方自治体選挙」が施行されます。組織内外の推薦候補の勝利に向け行動します。